



# サイクルを活性化する

南オーストラリア州の牛のライフサイクルを理解する

📖 ARTICLE | 3 MIN READ

# 南オーストラリアの牛のライフサイクル



## 9月から11月 (オーストラリアの春)

サイクルが再び始まる

雌牛は、生後2-3年経過すると農場繁殖用の群れに入り、雄種牛と繁殖サイクルが再度始まります。



## 9月から11月 (オーストラリアの春)

繁殖 (受胎)

春には、雄牛と雌牛が交配が始まり雌牛が妊娠します。牛の妊娠期間は9カ月です。この時期に妊娠した子牛は、翌年の6月から8月の間に生まれます。

## 1月以降 (オーストラリアの夏)

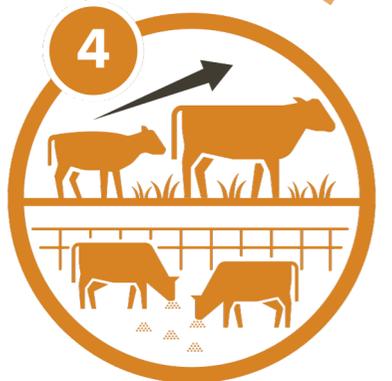
家畜の繁殖と出荷

離乳後は、増体のための飼育に移行され、最終市場向けの生体重量が決定されます。

ほとんどの子牛は冬の間、牧草や飼料作物で育ちます。

2021年には約300万頭の牛が肥育場に導入され平均1頭あたり400キログラムの生体重量でした。

これは、素牛が400キログラムに達し、一部が別の肥育業者に販売され、穀物肥育牛(グレインフェッド)として最終的に販売されるものと肥育場に売られていないものは、牛は引き続き牧草で飼育され牧草牛(グラスフェッド)として出荷、加工されます。



## 7月から9月 (オーストラリアの冬と春)

生まれ育った子牛

前年の春に妊娠した子牛が生まれ、母親のそばで乳を飲みながら成長していきます。

この時期に合わせて、冬季に牧草地や飼料作物を食べた成熟した家畜の供給量が増加し、市場に出回ります。



## 10月から12月 (オーストラリアの春/夏)

牧草の成長と離乳

晩冬から早春にかけて生まれた子牛は母親から離乳し、草だけを食べて母親なしで成長を続け、離乳牛と呼ばれるようになります。



### 用語集

牛: 1頭以上の子牛を産んだ雌牛

雌牛: まだ子牛を妊娠していない若い雌牛

子牛: 幼児

離乳牛: 母親から「離乳」した子牛

1歳牛: 離乳した牛で、現在は青年期と見なされているもの。

雄牛: 去勢されていない雄牛